

# 家庭で出る廃棄物を減らすには

気仙沼高校 1201A班

## I 序論

私たちは家庭ゴミが多く出ているという現状を変えようと思い、**市民の食品ロスの意識を変えれば食品ロスは減る**という仮説を立てた。

家庭で出る食品ロスを減らすために、食品ロスについて知ってもらい、小さなことから始めてもらおうと思いアンケートを取り、広告活動を計画した。

## II 検証方法

アンケートの作成

- 1.食品ロスの問題をどのように知ったか
- 2.家庭での食品ロスへの意識と取り組み
- 3.2でどんな取り組みをしているのか



ポスターなどを作り、ロスを減らす方法を知ってもらう。

## IV まとめ

・食品ロスの現状についてテレビなどの影響により知られてはいるが、**それを実行に移せていない人がまだまだ多くいることが分かった。**

・この結果を踏まえ簡単にできる食品ロスを減らす工夫をポスターなどを使いスーパーなどの協力を経て伝えていくつもりだったが、時間がなくそこまで踏み切れなかったことが反省だ。

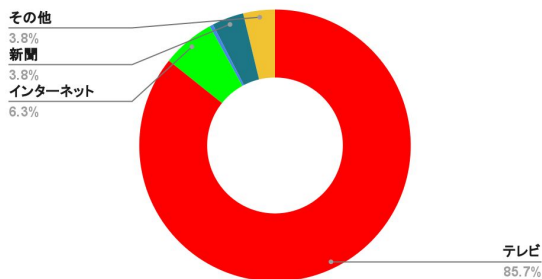
・フィールドワークでは、コロナ禍によってまとめ買いが増えてしまったのもロスが増える原因だということや、食べ物を酸化させないようにすることで保存期間を延ばせることが分かった。

・一年で国内で発生した食品ロスを国民一人当たりで換算したとき一日に出る量は約132g(茶碗一杯分)というデータ(平成29年度農林水産省推計より)も出ている。**一人一人が意識してこの数値を減らしていけば、日本や世界全体の食品ロスは減っていくと私たちは考える。**

## III 結果

宮城県の公立高校の保護者(回答者)240人に向けてアンケートを行った

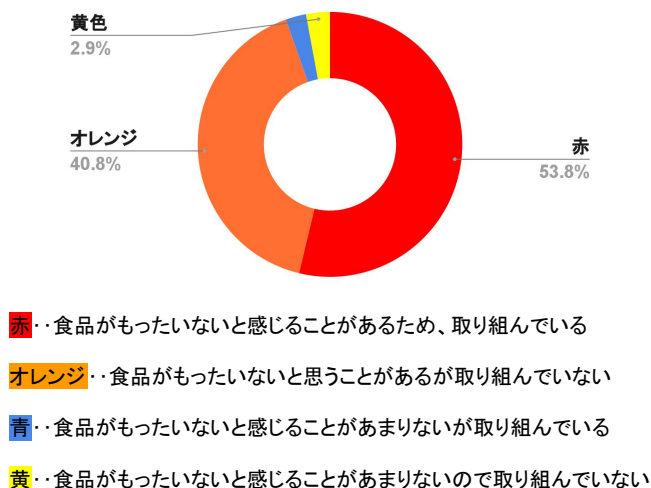
### 1 食品ロスの問題をどのように知ったか



1ではテレビが約85%と、ほとんどを占めた。

2では**取り組んでいる人が多いものの、もったいないと思うのに取り組めていない人が約40%いることが分かり、改善していく必要があると感じた。**

### 2 家庭での食品ロスへの意識と取り組み



### 3 で多かった回答

- ・保存する
- ・まとめ買いをしない
- ・賞味期限を気にしすぎない
- ・食べる分だけ作る、食べきる
- ・食材の味を変え、アレンジして食べる